



2010年12月10日
Climate Youth Japan

報道関係者各位

日本の若者が松本龍環境大臣に声明文を提出

「工業化以前と比較し世界の気温上昇を2°C未満に」声明文を政府へ提出

国連気候変動枠組み条約 第16回締約国会議(COP16)で、日本からCOP16に参加している大学生を中心とした若者グループが「世界平均気温の上昇を工業化前から摂氏2度以内に抑える」という主張を中心とした声明文を、COP16に参加している松本龍環境大臣へ提出した。

気候変動問題に関心のある日本の若者のNGO「Climate Youth Japan」は、11月29日～12月10日の日程でメキシコで開催されているCOP16に9名を派遣している。Climate Youth Japanは、「世界平均気温の上昇を工業化前から摂氏2度以内に抑える」ことを次期枠組みの長期的目標に据えることを主張しており、12月9日、カンクン（メキシコ）の会議施設内で松本龍環境大臣へ声明文を提出した。



松本環境大臣へ声明文を手渡す

連絡先：

【メキシコ】

福島 宏希

携帯電話: 998-1085-024

E-mail: hfukushima@eco-2000.net

【日本】

津高 絵美

携帯電話: 080-5184-2372

E-mail: emitsudaka@gmail.com

URL: <http://climateyouthjapan.jimdo.com/>

COP16 ブログ: <http://cyjclimatenegotiations.blogspot.com/>